

令和6年3月14日

PTA 会員の皆さまへ

大阪教育大学附属特別支援学校
校 長 西山 健
PTA 会長 日根 貴子

令和5年度 第6回 PTA 代表者委員会のご報告

日 時：令和6年2月20日（火） 9時15分～

場 所：会議室

出席者：日根会長、坂本（司会）、東條、青谷、谷一、北村、吉濱、小西、村上
西山校長、岩崎副校長、小川主幹

1、校長挨拶

本日もありがとうございます。一年間、みなさまのおかげでスムーズに事が執行できましたこと、感謝しております。本日は給食の試食会を久しぶりに開催するという事で、児童・生徒は給食を楽しみにしていると同時に、栄養という点で非常に大事なことです。忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。よろしくお願い致します。

2、会長挨拶

おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日もよろしくお願い致します。

3、議題・検討

・PTA 保護者向け特別支援教育コーナー設置企画プロジェクトについて（東條副会長より）
特別支援教育推進の一環として、PTA と学校とが協力をして、専門知識の啓発に向けたコーナーを設置する企画です。特別支援教育の月刊誌を常備し、保護者、PTA、先生方と校内での自由閲覧を可能にします。場所は、玄関前の図書コーナーを改装します。想定効果としましては、この企画はよりよい支援の在り方を考え、実践していくきっかけとなると考えられます。（→本会議にて承認。詳細は報告末尾に記載）

・総会について（日根会長より）
ここ数年はコロナの影響でPTA 総会は書面で行われていましたが、次年度は顔合わせの意味も含めまして、対面形式での開催として、参加が難しい方もいらっしゃると思いますので、その方には委任状を出していただこうと思っておりますが、いかがでしょうか。（→本会議にて承認）

・物品購入（丁合機）について（岩崎副校長より）
丁合機（ちょうあいき）というものをご存じでしょうか。複数の段がついていて、そこに印刷物をいれておくと、順番に1枚ずつ重ねて冊子にしてくれる機械で、多目的室にあります。今

までPTA 総会の資料等もそれで準備をしておりましたが、研究大会の前に壊れてしまいました。そのため、研究大会の冊子は、先生方が印刷物を1枚ずつ取って重ねてという手作業になりました。今後もPTA 総会の資料作りにも必要ですし、印刷機と丁合機を使っていただくことで、保護者の方の仕事も軽減されると思いますので、後援会費でお願いします。定価は64万円と言われましたが、商社3社、メーカー5社ほどから見積もりを取りまして、一番安いのは今のところ34万円（税抜き）となっております。ホッチキスまで自動の機械もありますが、それは金額的に倍以上になり、大きさも3倍くらいになります。それは高すぎますし、場所的にも置けませんので、今回のものを考えています。以前は説明書をただ置いていただけでしたが、操作の手順書なども準備して、みなさんがより使いやすいようにしていきたいと思います。（→本会議にて承認）

・令和6年能登半島地震災害への義援金について（岩崎副校長より）

全知P連（全国特別支援学校知的障害教育校PTA 連合会）より義援金のお願いが来ています。こちらはお気持ちだと思いますし、個人で寄付されている方もいらっしゃいますし、本校でも被災された方がいらっしゃいますが、こういった時は、お互いに助け合うということで、お願いできないでしょうか。金額につきましても、この場で諮っていただけたらと思います。ちなみに、大知P連（本校以外の大阪にある知的障害の支援学校のPTAの集まり）からの寄付は終わっているそうです。募金箱を置いてみなさんから集めるというのではなく、PTA会費から、金額は相場に合わせてという形でよろしいでしょうか。（→本会議にて承認）

⇒後日、寄付をさせていただきました。

石川県には金沢大学附属特別支援学校というものがございまして、こちらの方へもと考えております。本学と関係がないわけではなく、研究大会に来ていただいたり、逆に勉強させてもらったり、また須田前校長と向こうの校長先生とのつながりもあるようです。寄付が難しいようでしたら、気持ちとして物資を送りたいと思っています。受け取ってくださるかわかりませんが、そういった連絡をしてみたいのですが、よろしいでしょうか。（→本会議にて承認）

⇒後日、岩崎副校長より、お電話をさせていただきました。

金沢大学附属特別支援学校 校長より「お電話ありがとうございます。このような申し出を受けたこと大変うれしく思っております。ありがたいお言葉ですが、今回はご遠慮させていただきます。本校の現状として、本校は幸いにも被害がほとんどなく子どもたちも元気に登校してくれており、教育活動が行えています。このようなお電話があったことは、本校教職員や保護者には、お伝えさせていただきます。お電話ありがとうございました。」

4、連絡・報告

1) 岩崎副校長より

①研究大会について

先日、2月10日に研究大会がございました。日根会長に参加していただきましたが、いかがでしたか。

日根会長「初めて参加させていただきました。北海道から九州までたくさんの先生方が来られていました。午前中は体育館での講演会で、附属での支援教育について聞き、子どもへの日々の接し方の参考にもなり、すごく勉強になりました。ありがとうございました。」

本来であれば、保護者の方にも見ていただきたいくらい、子どもたちも頑張っていました。授

業の場でもすごく楽しんで、普段通りの姿を見ていただけたかなと思っています。研究大会に關しましては、本校は研究校ということで、来年度も開催する予定です。先生方もそうなんです、子どもたちもそういった発表ができたということで（「授業参観＝発表」になりますので）、前に出て話をしたり、授業を受ける様子を見ていただいたり、頑張っている様子が伝わってきて、個々にお話したいくらいに、とてもよかったです。ありがとうございます。引き続き、ご協力よろしくお願ひします。調査官から、全体を通してのお話もいただきまして、落ち着いた、いい雰囲気学校ですねということ、また調査官からの宿題もきちんとこなしているということで、高い評価をいただいています。それは教員だけでなく、子どもたち、そして保護者のみなさまのご協力あってのことだと思ひますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

②SPS（Safety Promotion School）の認証について

先日来お話ししておりました。こちらの方、正式に認証の運びとなっております。3月21日の修了式の日ですが、この日の下校時間を少しずらさせていただいて、いつもでしたら10時半のところを11時にしまして、修了式後の10時から10時半にSPSの認証式を行いたいと思ひます。この認証式では、学校長の調印の儀式などをしますが、文部科学省から安全企画課長と調査官、本学から広谷機構長、特別支援教育部門主任の早野先生、地域の消防署等、これから一緒に地域防災に携わっていく方々を交えまして、そういった会を開きます。保護者の方にも参観していただく形を取りたいと思ひますので、是非、奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願ひ致します。

③五校連のあり方

先日、五校連の常任理事会がございました。五校連のあり方についての話があり、その時の坂井会長からのお話を、日根会長からお願ひします。

日根会長「前回は今年度の最後でしたので、一言ずつ挨拶がありました。その中で、連合会の坂井会長はいつも特支にご配慮くださっていらして、五校連の総会や懇親行事でも特支は担当から外していただいて、他の四校園で分担して下さったり、常任理事会、総会、新年互礼会にたくさん参加して下さったことが有り難い、来てくれるだけで嬉しいというお言葉をいただきました。それを温かい言葉と受け止め、次年度からも参加できるところは参加して、無理なく活動していけたらと思ひました。」

卒業後も保護者の方には教育後援会でお仕事をしていただくのですが、そこでも坂井会長のように温かい目で見えていただきながらやっていけるということで、いっぱい仕事があってというわけではないので、ご理解いただきたいと思ひます。また、PTA活動も昔よりは余力をもってという言い方に語弊があるかもしれませんが、一生懸命取り組んでくださっていると思ひますが、そういった負荷が減ることで、子どもたちへのいい流れになっているのではないかと、これも五校園の配慮のおかげであり、一緒にやっていく仲間でもありますので、それが本校へいい循環として返ってきているのではないかと話をさせていただきました。

2) 学級・進路委員会報告（村上委員長）

・1月24日（水）第2回施設見学会

特定非営利活動法人コーナス

後期学級・進路委員会便りを作成、紙面は後日配付予定

（会計報告は代表者委員会にて確定しました→ホームページへアップ）

- ・ 2月22日（木）第7回学級・進路委員会 開催予定
内容：後期学級・進路委員会便りの印刷・配付
今年度ふり返り

3) 役員会活動報告

- ・ 2月16日（金）平野五校連第4回常任理事会 中高1階会議室にて 日根会長出席

4) 役員会会計報告（小西）

1月19日から2月8日までの会計を報告

5、今後の予定

- ・ 2月25日（日）近附P連冬季会長会 日根会長出席予定
- ・ 3月 1日（金）高等部卒業式 日根会長出席予定
- ・ 3月 8日（金）小学部・中学部卒業式 日根会長出席予定
- ・ 3月21日（木）SPS 認証式／学校評議員会 日根会長出席予定
- ・ 6月15日（土）五校園新旧合同役員会・懇談会

6、今年度の代表者委員会より挨拶

会長を務めることが出来るのか初めはとても不安でしたが、先生方や皆さまに支えていただき、何とかここまで務めさせていただくことができました。心より感謝しております。一年間ありがとうございました。（PTA 会長 日根）

今年度は PTA 活動も活発化し、様々な行事に参加ができ、貴重な経験となりました。先生方、役員の皆様に支えられた一年間に心から感謝しています。（PTA 副会長 東條）

戸惑うことも多かったのですが、皆さまが親切に導いてくださったので、気持ちよく PTA 活動に携わることができました。次年度もよろしくお願い致します。（PTA 副会長 青谷）

一年間ありがとうございました。小規模な学校なので、これからも助け合いながら活動出来たらいいなと思います。（PTA 副会長 坂本）

一年間ありがとうございました。引き続き次年度もよろしくお願い致します。（PTA 書記 谷一）

知らなかったこと、わからないことがたくさんありましたが、みなさんに助けていただきながら、どうにかやってこられました。ありがとうございました。（PTA 書記 北村）

一年間ありがとうございました。（PTA 会計 小西）

一年間ありがとうございました。また次年度もよろしくお願い致します。（PTA 会計 吉濱）

2023 年度学級・進路委員会活動にご参加、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。来年度もよろしくお願い致します。（学級・進路委員長 村上）

今年度、主幹教諭となりまして、初めてPTA 代表者委員会に参加させていただきました。私もみなさんがおっしゃられたのと同じように、こんなにいろいろ支えていただいて、学校教育が成り立っているんだなということを、改めて知ることができました。みなさんが日々細やかに温かく見守りながら、お仕事をしてくださって、支えてくださっているからこそ、子どもたちが毎日元気に学校で過ごせていて、教員も一生懸命、教育に取り組むことができているんだなあと、実感しました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（小川主幹）

本当に一年間ありがとうございました。子どもたちが学校で楽しく学び、健やかに過ごせるのは、やはり家庭が安定してこそだと感じております。来年度以降も、引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。（西山校長）

以上にて、閉会

【PTA からのお知らせ】

今回の役員会の議題・検討で承認されました、「PTA 保護者向け特別支援教育コーナー」が、玄関前の図書コーナーに2月下旬に新たに設置されました。「月刊 発達教育」という機関誌の2023年度版（以下続刊）からスタートします。「子育てと保育・特別支援教育・療育に役立つ情報が満載」で、「発達につまずきのある子どもに関わる学校や園の先生」、「子育て中のお母さん、お父さんから支持をいただいている月刊誌」（ホームページより）です。

内容を少し紹介しますと…

2024年2月号 特集 「働く私たち」

成人して働いている当事者4人にインタビューし、仕事や現在の生活について聞きました。企業就労、作業所、福祉施設など、学校卒業後の子どもたちの進路はさまざまです。将来どんな大人になりたいか。どんな生活を送りたいのか。考えるきっかけになればと思います。（ホームページより）

他にも、「発達障害のある人の感覚の問題とその支援」、「不安がつよい子への理解と対応」、「障害のある子の将来のお金、住まい、支援」など、様々な領域にわたる情報が詰め込まれています。校内閲覧に限られますが、自由にご覧いただけますし、毎月新しい冊子が届きますので、送迎や学校行事の際などに、是非一度お手に取ってみてください。